

2026 「学習内容・評価方法」 京都御池中学校

7年 国語科

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4	言葉に出会うために	朝のリレー	知①	読書が、知識や情報を得たり広げたり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	ノート記述内容 定期テスト
			態①	詩を繰り返し音読する中で、気付いたことや考えたことを伝え合おうとしている。	ノート記述内容
		声を届ける 野原はうたう	知①	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)	ワークシート 課題 定期テスト
			態①	音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	活動の様子
		書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	知①	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	ノート記述内容 ワークシート
			知②	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	
			思①	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	
			態①	進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	活動の様子
5	1 学びをひらく	はじまりの風	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	ワークシート 課題 定期テスト
			思①	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	
			態①	登場人物の心情の変化を、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。	課題の記述
		〔聞く〕 情報を聞き取り、要点を伝える	知①	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	ノート記述内容 課題
			思①	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	
			態①	聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。	
		言葉1 音声の仕組みや働き	知①	音声の働きや仕組みについて理解を深めている。((1)ア)	ノート記述内容 定期テスト
			態①	学習課題に沿って、音声の持つ働きについて理解しようとしている。	ノート記述内容
		話の構成を工夫しよう 一枚の写真を もとにスピーチをする	知①	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)	ワークシート スピーチ 定期テスト
			思①	「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ)	
			思②	「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	
			態①	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	スピーチ
		漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	知①	漢字の組み立てや部首について理解し、漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			態①	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	ノート記述内容
6	2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？	知①	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	ノート記述内容 ワークシート 課題 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	
			態①	文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を短い文章でまとめようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		ちょっと立ち止まって	知①	比較や分類、関係付けなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	ノート記述内容 ワークシート 課題 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	
			態①	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		情報整理の レッスン	知①	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			態①	情報の整理の仕方について積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	

月	単 題 材	学 習 内 容	観点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
		情報を整理して説明しよう	知①	比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	作文記述
			思①	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を明確にしている。(B(1)ア)	
			思②	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	
			態①	集めた教材を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。	記述の様子
		言葉2 指示する語句と説明する語句	知①	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
7	3 言葉に立ち止まる	空の詩三編	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語句を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	ノート記述内容 ワークシート 課題 定期テスト
			知②	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現を理解し、使っている。((1)オ)	
			思①	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文書になるよう工夫している。(B(1)ウ)	
			思②	「読むこと」において、文書の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	
			態①	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		比喩で広がる言葉の世界	知①	比喩などの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	
			態①	進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		文法への扉	知①	単語の類別について理解している。((1)エ)	ワークシート 定期テスト
			態①	単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	ワークシート
		語彙を豊かに心情を表す言葉	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	ノート記述内容 ワークシート
			態①	今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。	ノート記述内容
		情報収集の達人になろう	知①	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	作文記述 ワークシート 課題
			知②	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	
			思①	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	
			思②	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	
			態①	言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	ワークシート
		読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い	知①	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	
			態①	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	ワークシート
8 9	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに……	知①	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			思①	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	
			態①	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	ノート記述内容 ワークシート

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
		星の花が降る ころに	知①	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解して使っている。((1)オ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			思①	「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。(C(1)ウ)	
			態①	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		項目を立てて 書こう 案内文を書く	知①	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	作文記述 ワークシート
			思①	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	
			思②	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(B(1)イ)	
			態①	必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。	
		[推敲]読み 手の立場に 立つ	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	作文記述 ワークシート
			思①	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	
			態①	粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。	
10		言葉4 方言と共通語	知①	共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			態①	今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		聞き上手にな ろう	知①	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)	ワークシート スピーチ
			思①	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	
			態①	進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。	
		漢字2 漢字 の音訓	知①	漢字の音訓について理解し、漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			態①	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
	5 筋道を立てて	「言葉」をも つ鳥、シジュ ウカラ	知①	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	
			態①	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		思考のレッス ン1	知①	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			態①	学習課題に沿って、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		根拠を明確に して書こう 資 料を引用して 報告する	知①	比較や分類、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	作文記述 ワークシート
			思①	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	
			思②	「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	
			態①	文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。	
		漢字に親しも う3	知①	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字配当表」という。)に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			態①	学習課題に沿って辞書を活用し、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		文法への扉2 言葉の関係を 考えよう	知①	単語の類別について、理解している。((1)エ)	ノート記述内容 定期テスト
			態①	単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	ノート記述内容
		聞きひたる 大阿蘇	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	ノート記述内容 ワークシート
			態①	詩の朗読を聴き、進んで表現の効果について考え、感じ取ろうとしている。	ノート記述内容

月	単 題 材	学 習 内 容	観点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
	6 いにしえの心にふれる	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界	知①	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			知②	古典には様々な種類の作品があることを知っている。((3)イ)	
			態①	古典には様々な種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	知①	音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			思①	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	
			態①	進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。	ノート記述内容 ワークシート
		今に生きる言葉	知①	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)	ノート記述内容 ワークシート 課題 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	
			思②	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	
			態①	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。	課題 ノート記述内容
12	7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す	知①	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	ノート記述内容 ワークシート 課題 定期テスト
			知②	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	
			思①	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、内容を解釈している。(C(1)ウ)	
			思②	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	
			思③	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	
			態①	必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。	課題 ノート記述内容
		思考のレッスン2 原因と結果	知①	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	作文記述 ワークシート
			態①	今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。	
		漢字に親しもう4	知①	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字配当表」という。)に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			態①	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	ノート記述内容
		話し合い(進行) 進め方について考えよう	知①	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	ワークシート 話し合い活動
			思①	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	
			態①	進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気を付けることについて、考えをまとめようとしている。	
		話題や展開を捉えて話し合おう	知①	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)イ)	ワークシート 話し合い活動
			思①	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	
			態①	積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。	
		文法への扉2 言葉の関係を考えよう	知①	単語の類別について理解している。((1)エ)	ノート記述内容 定期テスト
			態①	単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	ノート記述内容
		研究の現場へようこそ	知①	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	ノート記述内容 ワークシート 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	
			態①	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	ノート記述内容

月	単 題 材	学 習 内 容	観点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
1	8 自分を見つめる	少年の日の 思い出	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	ノート記述内容 ワークシート 課題 定期テスト
			思①	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	
			思②	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	
			態①	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。	課題 ノート記述内容
		漢字に親しもう5	知①	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字配当表」という。)に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)	ノート記述内容 定期テスト
			態①	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	ノート記述内容
		文法への扉3 単語の性質を見つけよう	知①	単語の類別について理解している。((1)エ)	ワークシート 定期テスト
			態①	今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	ワークシート
		二十歳になった日	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	ノート記述内容 ワークシート 課題 定期テスト
			思①	「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。(C(1)ウ)	
			思②	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	
			態①	進んで文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	課題 ノート記述内容
2		構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	知①	事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	課題 ワークシート
			思①	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	
			思②	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	
			態①	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	
		漢字3 漢字の成り立ち	知①	漢字の成り立ちについて理解し、漢字を正しく書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)	ノート記述内容 定期テスト
			態①	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	ノート記述内容
		一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ発表する	知①	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	ワークシート 課題
			思①	「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	
			思②	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	
			態①	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。	
		ばくが ここに	知①	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)	ノート記述内容
			思①	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	
			態①	積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。	
3			知① 態①	・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解し、楷書で書いている。(書こうとしている。)(3)エ(ア)	
【書写】			知① 態①	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。(書こうとしている。)(3)エ(イ)	
【書写】			知① 態①	・生活の中で、楷書、行書を効果的に生かして書いている。(書こうとしている。)(3)エ(イ)	

4 ～ 7 月		読みやすく書くための楷書	知① 態①	・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解し、楷書で書いている。(書こうとしている。)(3)エ(ア)	
9 ～ 12 月		読みやすく書くための楷書	知① 態①		
1 ～ 3 月		読みやすく速く書くための行書	知① 態①		

7年社会科

知識・技能
思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4 5	地理的分野 第1部 世界と日本 の地域構成	第1章 世界の姿	知①	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第2章 日本の姿	知②	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。	・定期テスト ・授業観察
			思①	・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			思②	・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			態	・世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート (記述) ・白地図ワーク ・授業観察
5 6	第2部 世界のさま ざまな地域	第1章 人々の生活と環境	知①	・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。	・定期テスト ・授業観察
			知②	・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。	・定期テスト ・授業観察
			思	・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			態	・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート (記述) ・白地図ワーク ・授業観察
6		第2章 世界の諸地域	知①	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。	・定期テスト ・授業観察
7		第2節 ヨーロッパ州	知②	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	・定期テスト ・授業観察
8		第3節 アフリカ州	思	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
9		第4節 北アメリカ州	態	・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート (記述) ・白地図ワーク ・授業観察
10		第5節 南アメリカ州			
11	歴史的分野 第1部 歴史のとなえ 方と調べ方	第1節 歴史の流れと時代区分	知①	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。	・定期テスト ・授業観察
			知②	・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめる技能を身に付けている。	・定期テスト ・授業観察
			思	・時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			態	・私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート (記述) ・白地図ワーク ・授業観察
		第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた	知	・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめるなどの技能を身に付けている。	・定期テスト ・授業観察
			思	・比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			態	・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート (記述) ・白地図ワーク ・授業観察

11 12	第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	第1章 古代国家の成立と東アジア	知①	・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第1節 人類の登場から文明の発生へ	知②	・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第2節 東アジアの中の倭（日本）	知③	・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第3節 中国にならった国家づくり	知④	・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第4節 展開する天皇・貴族の政治	思①	・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			思②	・古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			態	・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート（記述） ・白地図ワーク ・授業観察
1 2		第2章 武家政権の成長と東アジア	知①	・鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第1節 武士の世の始まり	知②	・南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第2節 武家政権の内と外	知③	・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第3節 人々の結び付きが強まる社会	思①	・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			思②	・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
			態	・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート（記述） ・白地図ワーク ・授業観察
2 3		第3章 武家政権の展開と世界の動き	知	・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。	・定期テスト ・授業観察
		第1節 大航海によって結びつく世界	思	・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・授業観察 ・授業内ワークシート
		第2節 戦乱から全国統一へ	態	・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・授業内ワークシート（記述） ・白地図ワーク ・授業観察

7年数学科

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単元材	学習内容	観点	評価規準	評価方法 場面・時期
4・5・6	正の数・負の数	○正の数と負の数の必要 性と意味を理解すること ○小学校で学習した数の 四則計算と関連付けて、 正の数と負の数の四則 計算の意味を理解する こと ○正の数と負の数の四則 計算をすること ○具体的な場面で正の数 と負の数をを用いて表し たり処理したりすること ○素数の意味を理解し、自 然数を素因数分解すること また、素因数分解を用い て数の性質をとらえること	知 思 態	①正の数と負の数の必要性と意味を理解している。 ②自然数や整数、素数、正の数と負の数の大小関係、符号、絶対値の意味を理解してい る。 ③正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ④具体的な場面で正の数と負の数をを用いて表したり処理したりすることができる。 ⑤1より大きい自然数を素因数分解することができる。 ①算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考 察し表現 することができる。 ②数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 ③正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 ④自然数を素数の積として表すことにより、約数、倍数などの整数の性質について捉え直 すことができる。 ①正の数と負の数のよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ②正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業の様子 ノート 課題
6・7	文字の式	○文字を用いることの 必要性と意味を理解 すること ○文字を用いた式におけ る乗法と除法の表し方 を知ること ○簡単な一次式の加法 と減法の計算をする こと ○数量の関係や法則など を文字を用いた式に表 すことができることを 理解し、式を用いて表 したり読みとったりする こと	知 思 態	①文字を用いることの必要性と意味を理解している。 ②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知っている。 ③式の値の意味を理解し、文字の値を式に代入することで式の値を求めることができる。 ④簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。 ⑤項や係数の意味を理解している。 ⑥一次式と数の乗法と除法の計算をすることができる。 ⑦数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ⑧数量の関係や法則などの等しい関係や大小関係を、等号や≦や≧などの不等号を用い た式に表したり読み取ったりすることができる。 ①文字式に正の数や負の数を代入し式の値を求めることの意味を理解し、具体的な場面 と関連付けて考察し、表現することができる。 ②具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現すること ができる。 ①文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ②文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業の様子 ノート 課題
8・9	方程式	○方程式の必要性と意味 及び方程式の中の文字 や解の意味を理解する こと ○等式の性質を基にして、 方程式が解けることを 知ること ○簡単な一元一次方程式 を解くこと及びそれを 具体的な場面で活用 すること	知 思 態	①方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ②等式の性質と移項の意味を理解している。 ③簡単な一元一次方程式を解くことができる。 ④比の値や比例式の意味を理解し、簡単な比例式を解くことができ。 ⑤事象の中の数量やその関係に着目して方程式や比例式をつくり、それを解くことで答え を導くことができる。 ①等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ②既習の方程式と関連付けて、比例式を解く方法を考察し表現することができる。 ③一元一次方程式や比例式を具体的な場面で活用することができる。 ④求めた解や解法を振り返って、それらが適切であるかどうかを考察し表現することがで きる。 ①一元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ②一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業の様子 ノート 課題
10・11	変化と対応	○関数関係の意味を理解 すること ○比例、反比例の意味を 理解すること ○座標の意味を理解する こと ○比例、反比例を表、式、 グラフなどで表し、それら の特徴を理解すること ○比例、反比例を用いて 具体的な事象をとらえ 説明すること	知 思 態	①関数関係の意味を理解している。 ②変数と変域の意味を理解している。 ③比例、反比例について理解している。 ④座標の意味を理解し、座標をもとに平面上に点を表したり、平面上の点を座標を用いて 表したりできる。 ⑤比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 ⑥具体的な事象の中には、比例や反比例とみなし、変化や対応を調べたりすることで、予 測したりすることがあることを理解している。 ①比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、 それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ②比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ①比例、反比例のよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ②比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業の様子 ノート 課題

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
12 ・ 1	平 面 図 形	○角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図方法を理解し、それを具体的な場面で活用すること ○平行移動、対称移動及び回転移動について理解し、二つの図形の関係について調べること ○扇形の弧の長さや面積を求めること	知 思 態	①//や⊥の記号を用いて、平面における2直線の位置関係を表すことができる。 ②∠や△の記号を用いて、角や三角形を表すことができる。 ③角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ④平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 ⑤πの意味を理解している。 ⑥弧や弦の意味や、おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を理解し、それを求めることができる。 ①図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ②図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現することができる。 ③基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 ④円の接線はその接点を通る半径に垂直であることを理解し、活用することができる。 ①平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ②平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業の様子 ノート 課題
1 ・ 2	空 間 図 形	○空間における直線や平面の位置関係を知ること ○空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読みとったりすること ○基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めること	知 思 態	①平行、垂直やねじれの位置など、空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ②見取図、展開図及び投影図から、どのような立体を表しているのかを読み取ることができる。 ③基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 ①空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。 ②空間図形を見取図、展開図及び投影図を用いて平面上に表現し、空間図形の性質を見いだすことができる。 ③立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 ①空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ②空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業の様子 ノート 課題
2 ・ 3	デ ー タ の 活 用	○ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること ○ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること	知 思 態	①ヒストグラム、代表値及び相対度数などの必要性和意味を理解している。 ②範囲や累積度数の必要性和意味を理解している。 ③コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ④代表値だけではデータの分布の様子を表せないことがあることを理解している。 ⑤多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 ①目的に応じてデータを収集する方法や、それらを分類・整理したり、分析したりする方法について考察し表現することができる。 ②収集したデータの分布の特徴や傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ③多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。 ①ヒストグラムや相対度数などのよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ②データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えたりしようとしている。 ④多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 ⑤不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ⑥多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業の様子 ノート 課題

7年理科

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4月	自然の中にあふれる生命	身のまわりの生物の観察 生物のなかま分けのしかた	知	①いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることについて理解している。 ②ルーペや双眼実体顕微鏡の操作、スケッチの仕方や観察記録の取り方を身に付けている。 ③生物の共通点や相違点を相互に関係づけて分類できることを理解している。 ④生物を分類するためには、共通点や相違点を基に、観点と基準を設定することが必要であることを理解している。	・ノート ・定期テスト
			思	①身のまわりの生物について見通しをもって観察し、いろいろな生物の特徴を捉え、共通点と相違点を見いだして表現している。 ②いろいろな生物の生活や特徴と、生活環境を関連付けて捉えている。 ③自分やまわりの人の観察結果から、生物と環境との関係を見いだしている。 ④⑤仮説を立てて、なかま分けの観点を考えている。 ⑥分類では、観点や基準が変わると結果が変わることを見いだしている。	・ノート ・定期テスト
			態	①身のまわりの生物について、自ら進んで調べようとしている。 ②学校の周辺に生活している生物の観察を行い、生物の生活を自然環境と関連させようとしている。 ③生物の特徴に興味をもち、生物の分類に進んで関わり、観点や基準をいろいろと変えて分類を試してみる、科学的に探究しようとしている。	・ノート ・自主学习
5月	[生命] いろいろな生物とその共通点	1章 植物の特徴と分類 1. 花のつくり 2. 子葉、葉、根のつくり 3. 種子をつくらない植物 4. 植物の分類	知	①分解した花のつくりを、各部分に分け、それぞれの特徴を記録している。 ②被子植物の花の基本的なつくりを理解している。 ③被子植物と裸子植物の特徴の共通点と相違点を理解している。 ④葉や根の様子を観察し、結果を表にまとめて記録している。 ⑤単子葉類と双子葉類の特徴の違いを理解している。 ⑥種子をつくらない植物にはシダ植物やコケ植物があり、胞子でふえることを理解している。	・ノート ・定期テスト
			思	①単元の学習内容に興味を持ち、課題を見いだしている。 ②観察記録に基づいて、花のつくりの規則性や、共通点と相違点を見いだしている。 ③果実や種子のでき方を、花のつくりと関連付けて、考察している。 ④マツの花のつくりの特徴を見いだし、被子植物との共通点と相違点を、見いだしている。 ⑤学習した、植物のなかまごとの特徴の違いを手掛かりに種類のわからない植物を観察し、どの仲間に分類されるのかを、推論している。	・ノート ・定期テスト
			態	①単元の学習の見通しをもつことができています。 ②花のつくりについて、自ら進んで調べようとしている。 ③章の学習を通して、自身の変容に気づくことができています。	・ノート ・自主学习 ・ふりかえり
6月		2章 動物の特徴と分類 1. 動物の体のつくりと生活 2. 背骨のある生物 3. 背骨のない動物 4. 動物の分類	知	①動物が背骨の有無によって脊椎動物と無脊椎動物に分けられることを理解している。 ②脊椎動物の分類の観点に関する特徴について理解している。 ③脊椎動物を特徴にもとづいて、5つのグループに分類できることを理解している。 ④無脊椎動物には、節足動物や軟体動物さまざまななかまがいることや、節足動物や軟体動物のおもな特徴を理解している。	・定期テスト
			思	①動物の体のつくりと生活について、自分の考えを表現している。 ②動物の体のつくりと生活のしかたの関係性について、草食動物と肉食動物の例から見いだしている。 ③脊椎動物の特徴を手掛かりに、ある脊椎動物が何に分類されるかを、指摘している。 ④昆虫類や甲殻類の形態的特徴をもとに、節足動物に共通する特徴を見いだしている。 ⑤これまでの学習を生かし、種類のわからない動物をどのなかまに分類されるかを、推論している。	・ノート ・定期テスト
			態	①動物の体のつくりと生活について興味をもち、体のつくりと生活の関係を調べようとしている。 ②章の学習を通して、自身の変容に気づくことができています。 ③単元の学習を通して、自身の変容に気づくことができています。	・ノート ・自主学习 ・ふりかえり

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
7月	[物質] 身のまわりの 物質	1章 いろいろな物質とその 性質	知	①ガスバーナーを正しく安全に使用している。 ②白い粉末状の物質を区別する実験を、見通しをもちながら、正しく安全に行っている。 ③有機物と無機物の違いについて理解している。 ④金属と非金属の違いについて理解している。 ⑤質量の定義について理解している。 ⑥密度の定義について理解し、てんびんやメスシリンダーを用いて物質の質量や体積を測定することで、密度を求めている。 ⑦実験結果を適切にレポートにまとめている。	・定期テスト ・パフォーマンステスト
		1. 物質の区別 2. 重さ・体積と物質の 区別	思	①見た目の似ている物体について、それぞれを物質として区別する方法を考え、説明している。 ②白い粉末状の物質を区別するための適切な方法を計画している。 ③ある物質が液体に浮くか沈むかについて、密度の違いから判断し、説明している。	・ノート ・定期テスト
			態	①単元の学習の見通しをもつことができている。 ②白い粉末状の物質を区別するという課題の解決に向けて、他者との対話を通して、自らの学習を調整しようとしている。 ③章の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
		2章 いろいろな気体とその 性質 1. 気体の区別 2. 身のまわりのものか ら発生した気体の区別	知	①気体の捕集法について理解している。 ②酸素や二酸化炭素の性質について理解している。 ③アンモニアや水素、窒素の性質について理解している。	・定期テスト
			思	①空気中で沈むシャボン玉について、問題を見いだしている ②実験結果から、異なる方法で発生させた気体の性質が、同じ性質か異なる性質かを判断している。 ③アンモニアの噴水実験の結果や原理を、アンモニアの性質と関連づけて説明している。 ④未知の気体を調べる実験を正しく安全に行い、実験結果からその気体の正体を判断している。	・ノート ・定期テスト
			態	①習得した知識・技能を活用して、未知の気体を区別する実験を計画し、課題を解決しようとしている。 ②章の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
8月		3章 水溶液の性質	知	①水溶液の性質、および溶質、溶媒について理解し、溶質を水に溶かしたとき、全体の質量は変わらないことを実験方法とともに理解している。 ②質量パーセント濃度の定義と求め方について理解している。 ③水溶液から溶けている物質を取り出す実験の技能や、観察の記録方法を身につけている。 ④飽和水溶液、溶解度、再結晶の意味及び純物質と混合物の違いについて理解している。	・定期テスト ・パフォーマンステスト
		1. 物質の溶け方 2. 濃さの表し方 3. 溶質のとり出し方	思	①水に物質が溶けているようすを粒子のモデルで考えている。 ②溶解度曲線より、水溶液に溶けている物質の析出方法を見きわめている。	・ノート ・定期テスト
			態	①一定量の水に溶ける物質の量は何に関係するのかという問題について進んで関わり、見通しをもつ、科学的に探究しようとしている。 ②習得した知識・技能を活用して、混合物から純物質を取り出す方法を見きわめる、科学的に探究しようとしている。	・ノート ・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
		4章 物質のすがたとその変 化 1. 物質のすがたの変 化 2. 状態変化と温度 3. 混合物の分け方	知	①状態変化では、物質そのものは変化しないことについて理解している。 ②ろうの状態変化における体積と質量の変化を調べる実験を、正しく安全に行っている。 ③沸点測定の実験を理解し、正しく安全に実験を行っている。 ④融点と沸点について理解している。	・ノート ・定期テスト
			思	①状態変化では、体積は変化するが質量は変化しないことについて、粒子のモデルを用いて適切に表現し、説明している。 ②エタノールを加熱したときの温度変化をグラフで表し、関係を見いだしている。 ③水とエタノールの混合物の温度変化のグラフより、エタノールの多い液体を取り出す方法を計画している。 ④蒸留によって得られた液体のおもな成分を判断している。	・ノート ・定期テスト
			態	①状態変化を適切にモデル化するために、他者の考えを取り入れながら、自分の考えをまとめようとしている。 ②習得した知識・技能を活用して、空気のおもな成分である窒素と酸素を分ける方法を考える、科学的に探究しようとしている。 ③単元の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
9月					

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
10 月	[エネルギー] 光・音・力に よる現象	1章 光による現象 1. 光の進み方 2. 光が通りぬけるとき のようす 3. レンズのはたらき	知	①光源装置や鏡、分度器を使って、入射角を変えたときの反射角を測定している。 ②鏡で光がはね返るときの規則性、物体が見えるしくみを理解している。 ③光が空気中から水中へ、また、水中から空気中へ進むとき、境界面で屈折する角度を、入射角を変えながら測定している。 ④光が空気中から水中へ進むとき、水中から空気中へ進むときの規則性を理解している。 ⑤白色光にはいろいろな色の光が混ざっていることを理解している。 ⑥凸レンズを通る光の進み方を理解している。 ⑦凸レンズによってできる像を調べる実験を行い、物体と凸レンズの距離によって像の位置や大きさ、向きが変わることを調べている。 ⑧凸レンズによる像のでき方の規則性を理解している。	・定期テスト
			思	①実験1の結果をもとに、入射角と反射角の関係を考察している。 ②異なる物質の境界面における光の進み方に着目し、理由を考えて表現している。 ③実験2の結果をもとに、入射角と屈折角の関係を考察している。 ④凸レンズを通る光の進み方をもとに、どの位置にどのような像ができるのかを作図によって求めている。 ⑤実験3の結果をもとに、実像と虚像のできる条件を見いだしている。	・ノート ・定期テスト
			態	①単元の学習の見通しをもつことができている。 ②水によってコインの見え方が変わる現象について、問題を見いだそうとしている。 ③凸レンズを使ったときのものの見え方について調べ、問題を見いだそうとしている。 ④章の学習を通して、自身の変容に気付くことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
		2章 音による現象 1. 音の伝わり方 2. 音の大小と高低	知	①音は波としてあらゆる方向に伝わることを理解している。 ②音は空気中だけでなく、液体や固体の中でも伝わることや、音が伝わる速さは音が伝わる物質によって異なり、空気中では約340 m/sであることを理解している。 ③音の違いと振動の様子を調べる実験を行い、音の大小や高低と振動のしかたの関係を調べている。 ④振幅が大きいほど音は大きくなり、振動数が多いほど音が高くなることを理解している。	・定期テスト
			思	①図39の実験を通して、音の伝わり方について仮説を立て、それを確かめる方法を計画している。 ②図40の結果から、音は空気の振動により伝わっていることを考察している。	・ノート ・定期テスト
			態	①音の大きさや高さの違いについて問題を見だし、探究しようとしている。 ②章の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
11 月		3章 力による現象 1. 力のはたらき 2. 力の大きさのはかり方 3. 力の表し方 4. 1つの物体に2つの力がはたらくとき	知	①物体に力が働くと、物体は変形したり、動きが変わったり、支えられたりすることを理解している。 ②いろいろな種類の力があることを、理解している。 ③力の大きさはばねの変形の大きさと表すことができることについて理解している。 ④重さと質量の違いを理解している。 ⑤力には、大きさ、向き、作用点という要素があり、力は矢印の大きさと向きを用いて表せることを理解している。 ⑥厚紙やばねばかりを使って実験を行い、2力がつり合う条件を調べている。 ⑦2力がつり合う条件を理解し、摩擦力や垂直抗力に適用して説明している。	・定期テスト
			思	①物体に力が働くと、物体はどうなるか、説明している。 ②力の大きさとばねののびの関係を調べる実験の方法を考えている。 ③実験結果について、誤差を踏まえながらグラフに表し、ばねののびは力の大きさに比例することを見いだしている。 ④物体に働く力について、矢印を使って表し、説明している。 ⑤実験結果をもとに、2力がつり合う条件を説明している。	・ノート ・定期テスト
			態	①他者と関わりながら、力の大きさとばねののびの関係について主体的に探究しようとしている。 ②力が働いているのに物体が動かない条件について予想し、探究しようとしている。 ③章の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。 ④単元の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
12 月		1章 身近な大地 1. 身近な大地の変化 2. 地域の大地の観察	知	①地形や大地の構造物を調べることによって、大地の変化を推測できることを理解している。 ②安全に観察したり、岩石を採取したりする方法や、観察後にスケールのようにすがわかる記録のしかたを身につけている。	・定期テスト
			思	①露頭の特徴を挙げ、特徴に基づいてその露頭のでき方を推測し、説明している。 ②観察結果から、大地の成り立ちや変化を考察している。	・ノート ・定期テスト
			態	①単元の学習の見通しをもつことができている。 ②身近な地形や地層、岩石の観察を通して、理解が深まったことに気づいていたり、新たな疑問をもったりしている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
1月	[地球] 活きている地球	2章 ゆれる大地	知	①地震の発生から揺れ始めるまでの時間を地図上に色分けして表すことができ、初期微動、主要動、P波、S波、地震の揺れの特徴について理解し、知識を身に付けている。 ②P波とS波の届くまでの時間の差（初期微動継続時間）と震源からの距離との関係を理解している。 ③日本列島付近の震央・震源の分布の特徴を、海洋プレートの沈みこみと関連づけて理解している。	・定期テスト
		1. 地震の発生とゆれの伝わり方 2. ゆれの大きさ 3. 日本列島の地震	思	①震源以外の2地点における震源距離と初期微動継続時間を読み取り、グラフに表してその関係を説明している。 ②震度やマグニチュードを示した過去の地震例を比べて、観測点によって地震の揺れの強さに違いが生じる要因を見いだしている。	・ノート ・定期テスト
			態	①章を通して、自身の学びの変容に気づくことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
		3章 火をふく大地	知	①火山噴出物の特徴を見いだしている。 ②火山が噴火するまでの過程を理解している。 ③火成岩の特徴を見だし、記録している。	・定期テスト
2月		1. 火山の噴火 2. マグマの性質と火山 3. マグマからできた岩石	思	①マグマの性質と火山の形の関係について、仮説を立てている。 ②モデル実験の結果からマグマの性質と火山の形の関係を考察している。 ③マグマの粘りけと溶岩の色、火山の形、噴火活動のようすの違いを関連付け、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・ノート ・定期テスト
			態	①火山噴出物に興味を持ち、火山噴出物が地下のマグマに由来することを探究しようとしている。 ②他者と関わりながら、実験計画をもとに見通しをもち、粘り強く実験を行おうとしている。 ③章の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。	・ノート ・ノート ・自主学習 ・ふりかえり
		4章 語る大地	知	①地層のでき方の規則性や流水による地形のでき方を理解し、知識を身に付けている。 ②双眼実体顕微鏡やルーペを使って堆積岩を観察し、それらのようすをスケッチし、特徴をまとめている。 ③堆積岩の特徴、示相化石や示準化石について理解し、知識を身に付けている。 ④プレートと大地の活動について関連付けて理解している。	・定期テスト
3月		1. 地層のでき方と広がり 2. 地層の岩石 3. 地層・化石と大地の歴史 4. 大地の恵みと災害	思	①観察結果から、地層の堆積した場所や環境を推測することができ、観察結果をわかりやすくまとめ発表している。 ②地層のようす、堆積岩、化石の特徴をもとに地層のできた時代や当時の自然環境について推定し表現している。 ③プレートのはたらきとさまざまな地形のでき方と日本における自然災害を関連付けて捉えまとめ、表現している。	・ノート ・定期テスト
			態	①観察結果や資料から、地層の広がりや地層のつながりを調べようとしている。 ②地層をつくる岩石や化石に興味をもち、堆積した当時の自然環境や年代を探究しようとしている。 ③自然がもたらす恵みや火山災害と地震災害に関する具体的な事例に進んで関わり、それらを科学的に探究しようとしている。 ④単元の学習を通して、自身の変容に気づくことができている。	・ノート ・自主学習 ・ふりかえり

7年音楽科

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期		
4 5 6	歌詞に込められた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌おう。	【歌唱】 校歌 その先へ My Voice	知	曲想と音楽の構造（強弱など）との関わりについて理解している。また、それらを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	定期テスト 実技テスト 観察		
			思	歌詞の内容と強弱の関連を知覚し、強弱などの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	定期テスト 実技テスト 観察		
			態	定期テスト 実技テスト 観察	定期テスト 実技テスト 観察		
	情景を想像して聴こう。	【鑑賞】 「和声と創意の試み」第Ⅰ集「四季」より「春」	知	曲想と音楽の構造（楽器の響きやソネットとを基に作曲されたこと）との関わりを理解している。	定期テスト		
			思	音楽を形づくっている要素（音の強さ、リズム、音程、調子）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。	定期テスト ロイロノート		
			態	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ロイロノート 観察		
7 8 9	合唱の響きをと旋律の表情を感じ取り、豊かな歌唱表現をしよう。	【歌唱】 全校合唱 学年合唱 クラス合唱	知	曲想と音楽の構造（強弱など）との関わりについて理解している。また、それらを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	観察 実技テスト 定期テスト		
			思	歌詞の内容と強弱の関連を知覚し、強弱などの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、合唱の中でどのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	観察 実技テスト 定期テスト 実技テスト		
			態	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	観察 実技テスト		
10	歌詞の意味を理解し、	【歌唱】 赤とんぼ 浜辺の歌	知	曲想と音楽の構造（強弱や旋律の動きなど）との関わりについて理解している。また、それらを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	観察 定期テスト ロイロノート		
11			思	歌詞の内容と音楽の構造の関連を知覚し、強弱や旋律などの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	ロイロノート 定期テスト		
			態	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	ロイロノート 定期テスト		
	詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取ろう。	【鑑賞】 「魔王」	知	曲想と音楽の構造（声の音色や詩の内容を基に作曲されたこと）との関わりを理解している。	定期テスト ロイロノート		
			思	音楽を形づくっている要素（音の強さ、リズム、音程、調子）や要素同士の関連、声の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。	ロイロノート 定期テスト 観察		
			態	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ロイロノート 観察		

月	単 元 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
12	箏の奏法を組み合わせて「さくらさくら」の演奏を工夫・創作しよう。	【創作】【器楽】 箏	知	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識と技能を身に付け、創作で表現している。	観察 定期テスト
			思	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	定期テスト 実技テスト 観察
			態	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト 観察
1	楽器の音色や旋律の特徴などに気を付けながら、雅楽のよさや美しさを味わおう。	【鑑賞】 「雅楽」 「日本の民謡」	知	曲想と音楽の構造(旋律の特徴)との関わり、及び音楽の多様性についてを理解している。	定期テスト 実技テスト 観察
			思	音楽を形づくっている要素(音の強さ、リズム、音程、速度)や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。	実技テスト 定期テスト 観察
			態	音や音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ロイロノート
2 3	合唱の響きを感じ取り、思いを込めて歌おう。	【歌唱】 「送る会」の歌 他	知	曲想と音楽の構造(強弱など)との関わりについて理解している。また、それらを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	観察 定期テスト
			思	歌詞の内容と強弱の関連を知覚し、強弱などの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、合唱の中でどのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	観察 ロイロノート
			態	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	観察

7年美術科

- 知
- 知識・技能
- 思
- 思考・判断・表現
- 態
- 主体的に学習に取り組む態度

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4	美術の扉を開こう	美術で今後学習することの内容紹介	知	中学校での学習内容に興味を持ち、小学校での図画工作が今後の学習にどのようにつながっていくか理解している。(知)	授業の様子 ワークシート
4 5	見つめ、感じ取り、描く (鉛筆デッサン)	鉛筆の基本的な使い方を身に付け、また、描いた作品を展示、鑑賞し、生活の中に美術があることの意識を感じる。	知	描くものをよく観察し、造形的な特徴などを基に、形の特徴や明暗の調子、また質感など、全体のイメージで捉えることを理解している。(知) 鉛筆や消しゴムの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。(技)	授業の様子 作品 ワークシート テスト
			思	対象を見つめ感じ取った形の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。(発) 作品 の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑)	授業の様子 作品 ワークシート テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを見つめ感じ取ったことを基に表現する学習活動に取り組んでいる。(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描いた作品を鑑賞する学習活動に取り組んでいる。(態鑑)	授業の様子 ワークシート 振り返りシート
6	鑑賞① 美術鑑賞を楽しむ 手がかり	北脇昇の作品を鑑賞し、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などを自分なりに読み取ったり感じ取ったりする。	知	形や色、光などが感情にもたらす効果を理解している。(知)	授業の様子 ワークシート
			思	作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑)	授業の様子 ワークシート ワークシート テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、時代背景をもとに表現した作品の鑑賞の学習活動に取り組んでいる。(態鑑)	授業の様子 ワークシート 振り返りシート
6	色や光の特徴を知ろう	色や光の持つ性質や構成のしかたの決まりなどについて学習し、さまざまな作品に生かしていくことを理解する。	知	色や光の持つ性質が人に与える効果を基に、表したいことや身の回りのものなど関連づけたりして全体のイメージで捉えることを理解している。(知)	授業の様子 ワークシート テスト
			思	身の回りにある様々なあかりや色の性質や役割について考え、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、デザインに対する見方や感じ方を広げている。(鑑)	授業の様子 ワークシート ワークシート テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく様々なデザインの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態鑑)	授業の様子 ワークシート
7 8 9	文字で楽しく伝える	文字の意味や形から発想し、見た人に楽しく伝わるデザインを考え、情報を伝える相手のことを考えたり、生活と美術とのつながりについて感じ取る。	知	形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解している。(知) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。(技) レタリングの特徴について理解し、正しく書いている。(技)	授業の様子 作品 ワークシート テスト
			思	伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。(発) 文字のデザインの目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑) 身の回りにある文字のデザインの形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑)	授業の様子 作品 ワークシート テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく伝達するための文字のデザインを表現する学習活動に取り組もうとしている。(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく伝達するための工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態鑑)	授業の様子 ワークシート 振り返りシート

月	単 元 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
10	鑑賞② ムーランド・ラ・ギャレットの舞踏会を鑑賞しよう	初期印象派のオーギュスト・ルノワールの作品の鑑賞を通して、筆触や光と影の美しさ、また活気ある楽しい雰囲気を感じ取り、印象派の特徴について考える。	知	色彩や光などが感情にもたらす効果や描き方の特徴、作風などをもとに、作品を全体のイメージで捉えることについて理解している。(知)	授業の様子 ワークシート テスト
			思	描かれている人物の状況から自分なりの物語を想像したり、作風のよさや美しさなど感じ取ったりすることで、作者の心情や表現の意図と工夫を考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑)	授業の様子 ワークシート テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分なりの物語を想像したり、話し合ったりする鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態鑑)	授業の様子 ワークシート 振り返りシート
10 11 12	自然の形や色を見つめて	自然物の美しさや特徴などを、形や色彩、質感などから捉えて主題を見つけ、自分の見方や感じ方を大切にして制作する。	知	形や色、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、自然物の美しさやおもしろさを全体のイメージで捉えることを理解している。(知) 自然の形や色彩を表す材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表している。(技)	授業の様子 作品 ワークシート テスト
			思	さまざまな感覚を通して捉えた自然物の形や色彩、質感などをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。(発) 自然物を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自然の形や色彩を表すための表現の工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑)	授業の様子 作品 ワークシート テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色彩を表す表現の学習活動に取り組もうとしている (態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色彩を表した鑑賞の学習活動に取り組もうとしている (態鑑)	授業の様子 ワークシート 振り返りシート
1	鑑賞③ 暮らしをいろいろ文様	世界各地にある文様に関心を持ち、形や色から何がもとになっているか想像し、もとになったものをどのように文様にしているか考える。	知	形や色彩、構成などが見る人に与える効果や、造形的な特徴をもとに、文様を全体のイメージで捉えることを理解している。(知)	授業の様子 ワークシート テスト
			思	日本や諸外国の文様の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の工夫や文様に込められた願い、生活との関わりについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。(鑑)	授業の様子 ワークシート テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本や諸外国の文様に込められた願いや生活との関わりについて考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	授業の様子 ワークシート 振り返りシート
1 2 3	気持ちを伝えるデザイン(紙で作る)	紙の特性や仕組みを生かし、どのように装飾するかを考え、伝える相手や内容などから主題を生み出し制作する。	知	形や色彩、材料の性質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、気持ちを伝えるデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。(知) 紙などの性質や用具を生かして、機能に応じて制作の順序を考え、見通しをもって表している。(技)	授業の様子 作品 ワークシート テスト
			思	伝える相手や、伝えたい気持ちをもと主題を生み出し、伝えたい内容を形に表す工夫と美しさとの調和を考え、表現の構想を練っている。(発) 伝達の効果と美しさの調和を感じ取り、気持ちを伝えるための工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑)	授業の様子 ワークシート 作品 テスト
			態	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを伝えるためのデザインをする表現の学習活動に取り組もうとしている。(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを伝えるための工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態鑑)	授業の様子 ワークシート 振り返りシート

2026「学習内容・評価方法」(京都御池中学校)

7年保健体育科
(体育分野)

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4	体づくり運動	オリエンテーション 体ほぐしの運動 体力を高める運動 集団行動 新体力テスト	知	体づくり運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	観察 定期テスト
			思	体の働きにあった、合理的な運動の行い方を選んでいる。分担の役割に応じた活動の仕方を考えている。	観察 定期テスト テスト(集団行動)
			態	体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。分担した役割を果たそうとしている。健康・安全に留意している。	観察 準備物 テスト(集団行動)
5 ・ 6	球技 (バトミントン)	オリエンテーション 基本技能 ゲーム	知	技術の名称や使い方を理解し、ラケットで基本的なシャトルの打ち方を習得している。	観察 定期テスト
			思	攻防などの自己やチームの課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方や練習方法を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	観察 提出物 定期テスト
			態	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、一人一人の違いに応じた課題や練習を工夫したり、健康・安全に注意して学習することができている。	観察 提出物
6 ・ 7	ダンス	オリエンテーション 現代的なリズムのダンス 作品の発表 まとめ	知	リズムに合わせて、体全体を使って踊ることができる。作品を完成させる。ダンスの名称や用語、特性や踊りの由来などを理解している。	観察 技能テスト 定期テスト
			思	グループや自己の能力に適した課題を見つけ、解決しようとする。作品を発表し、評価し合える。	観察 提出物 定期テスト
			態	ダンスの楽しさを体得しようと自ら進んで運動している。仲間と協力する態度を身につける。	観察 準備物の確認 提出物
8 9	水泳 (クロール)	オリエンテーション クロールの泳法	知	水泳の基本的な技能や技術の名称を理解している。各技のポイントや安全な練習の仕方を理解している。クロールの泳法に必要な基本的な技能を身につけている。身につけた技能を高めようとしている。	観察 技能テスト 定期テスト
			思	自己の技術的な課題を見つけようとしている。課題を解決しようと工夫している。分担の役割に応じた活動の仕方を考えている。	観察 提出物 定期テスト
			態	水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。分担した役割を果たそうとしている。健康・安全に留意している。	観察 提出物
10 ・ 11	球技 (バレーボール)	オリエンテーション 基本的技能 ゲーム まとめ	知	基本的な個人の技能を習得している。空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作ができる。バレーボールの基本的な技能や技術の名称を理解している。各技のポイントや安全な練習の仕方を理解している。	観察 技能テスト 定期テスト
			思	自己の技術的な課題を見つけようとしている。課題を解決しようと工夫している。分担の役割に応じた活動の仕方を考えている。	観察 提出物 定期テスト
			態	バレーボールの学習に積極的に取り組もうとしている。分担した役割を果たそうとしている。健康・安全に留意している。	観察 準備物・提出物
11 ・ 12	球技 (バスケットボール)	オリエンテーション ドリブル・パス・シュート ゲーム まとめ	知	基本的な用語やルール・審判の方法を理解している。パスやシュートなど基本的な技能を習得できている。	観察 定期テスト 技能テスト
			思	自己の課題の解決に向けて、考えながら活動している。仲間と協力して活動している。	観察 提出物 定期テスト
			態	学習の約束を守り、安全面に配慮して活動している。	観察 提出物

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
1	器械運動 (跳び箱)	オリエンテーション 既習の技の確認 基本技の練習	知	基本的な技能や技の名称を理解している。各技と練習方法や補助の仕方の関連を理解している。低難度の技が完成されている。中難度の技に挑戦している。	観察 技能テスト 定期テスト
			思	自己の課題を明確にしようとしている。練習方法や場の設定に工夫がみられる。	観察・提出物 定期テスト
			態	各技に関心を持ち、自ら進んで運動に取り組む。協力・責任などの態度を身につけている。	観察 準備物の確認 提出物
2	長距離走	オリエンテーション 1500メートル記録測定 各自の課題に応じた目標走（10～15分間走）	知	長距離走の特性や練習の仕方を理解している。ルールや測定の仕方を知っている。自己のタイムの向上につながる走法を身につけている。	観察 技能テスト 定期テスト
			思	安全に留意して、自己の課題を意識し、その課題を解決しようと工夫している。	観察 提出物 定期テスト
			態	記録向上に向けて、行動している。ペアを作り、協力して活動できる。	観察 準備物の確認 提出物
3	球技 (ソフトボール)	オリエンテーション 基本的技能 ゲーム	知	技の名称や行い方を理解している。 基本技能（捕球・送球・打つ）を習得している。	観察 定期テスト 技能テスト
			思	自己の課題の解決に向けて、考えながら活動している。 仲間と協力して活動している。	観察 提出物 定期テスト
			態	学習の約束を守り、安全面に配慮して活動している。	観察 提出物

2026「学習内容・評価方法」(京都御池中学校)

7年保健体育科 (保健分野)

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4	健康な生活 と疾病の予 防①	①健康の成り立ちと疾病 の発生要因 ②運動と健康 ③食生活と健康 ④休養・睡眠と健康 ⑤調和のとれた生活	知	・健康の成り立ちや疾病の発生要因・生活行動・生活習慣について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	定期テスト
			思	・健康の成り立ちや疾病の発生要因・生活行動・生活習慣について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。	観察・学習ノート 定期テスト・提出物
			態	・健康の成り立ちや疾病の発生要因・生活行動・生活習慣について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係をみつけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。	観察・準備物の確認 学習ノート・提出物
5	ア 身体機能 の発達	①体の発育・発達 ②呼吸器・循環器の発 育・発達	知	・健康の成り立ちや疾病の発生要因・生活行動・生活習慣について、資料を見たり自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察・準備物の確認 学習ノート・提出物
			思	・健康の成り立ちや疾病の発生要因・生活行動・生活習慣について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	定期テスト
			態	・中学生期の特徴や心の健康について理解している。	観察・学習ノート 定期テスト・提出物
6	イ 生殖に関 わる機能の 成熟	③生殖機能の成熟 ④異性の尊重と性情報へ の対処	知	・自分の体と心の発達の成長に気づき、個人差があることに 対して理解を深めている。	観察・準備物の確認 学習ノート・提出物
			思	・自分の体と心の発達の成長に気づき、意欲的に学習してい る。	観察・準備物の確認 学習ノート・提出物
			態	・中学生期の生殖機能の成熟や性情報について理解してい る。	定期テスト
7	ウ 精神機能 の発達と自 己形成	⑤心の発達 ⑥自己形成と心の健康	知	・性情報に対して適切な判断や行動ができる。	観察・学習ノート 定期テスト
			思	・生殖機能の発達に気づき、意欲的に学習している。	観察・準備物の確認 学習ノート
			態	・中学生期の精神機能、社会性の発達や、自己形成について 理解している。	定期テスト
8	エ 欲求やス トレスへの対 処と心の健 康	⑦心と体の関わり ⑧欲求と心の健康 ⑨ストレスによる健康への 影響 ⑩ストレスへの対処の方 法	知	・精神機能や社会性を自己の生活や事例と比較したり、関連 を見つけたりすることができる。	観察・学習ノート 定期テスト・提出物
			思	・知的機能、情意機能、社会性の発達に気づき、意欲的に学 習している。	観察・準備物の確認 学習ノート・提出物
			態	・欲求と行動の関係から自己を見つめ直し、今までの自分に 対して理解を深めることができる。	定期テスト
9			知	・自分に合ったストレスへの適切な対処法を身につけようとす る。	観察・学習ノート 定期テスト・提出物
			思	・体と精神は互いに影響しあうことを意識しながら、いろい ろな方法を試してみようとしている。	観察・準備物の確認 学習ノート・提出物
			態	・欲求やストレスへの正しい対処法や、心の健康について意欲 的に学習している。	観察・準備物の確認 学習ノート・提出物

7年技術・家庭科 (技術分野)

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	評 価 方 法 場 面・時 期
4	ガイ ダ ン ス	技術とは 技術が果たしてい る役割	知		
			思		
			態	・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	ポートフォリオ ワークシート
5 6 7 8 9 10 11 ・ 12 ・ 12	生 活 に 役 立 つ 製 作 品 の 設 計 ・ 製 作	材料の特性 材料に適した加工 法 材料と加工の技術 の工夫を読み取る 制作品を構想し、設 計する 加工法 製作品の評価、改 善、修正 材料と加工の技術 の最適化	知	木材、金属、プラスチックなどの特徴と使用方法を説明できる。 目的とする加工に応じた工具や機器を説明できる。 製作品の構造や部材を丈夫にする方法を説明できる。 製作に必要な図の役割やかき方を知り、製作に必要な図をかき表すことができる。	ワークシート 定期テスト
			思	身の回りの製作品や構造物に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして、自分なりの課題を設定できる。 材料の選択や大きさ、形状、構造などを、使用場所や加工方法などの制約条件に基づいて構想し、設計を具体化できる。	ワークシート 定期テスト
			態	進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の新しい考え方や捉え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。	ポートフォリオ ワークシート
3	テ ル イ に と つ い て モ ラ	情 報 の 技 術 と は 情 報 の デ ジ タ ル 化 情 報 モ ラ ル	知	情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則や、情報のデジタル化、処理の自動化、システム化などに関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。	ワークシート 定期テスト
			思	身の回りにある情報の技術に込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。	ワークシート 定期テスト
			態	進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	ポートフォリオ ワークシート

2026「学習内容・評価方法」(京都御池中学校)

7年技術・家庭科
(家庭分野)

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4	自立と共生 を目指そう	・ガイダンス (3年間の見通し) ・問題を解決する道筋と見方・考え方 ・自分の生活をチェックしよう ・自分と家族との生活を見つめよう ・家族・家庭の基本的機能	知 態	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりを理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解し、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・家族の互いの立場や役割について理解し、協力することによって、家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	ワークシート ワークシート 授業観察
5 6 7 8 9 10 11 12	私たちの衣 生活	・どうして衣服を着るのだろう ・私らしさとTPO ・日本の衣文化 ・衣服計画と必要な衣服の選択 ・衣服の手入れ ・作って楽しい布作品 ・持続可能な衣生活を目指して	知 思 態	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。 ・衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用必要性について理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。 ・用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方や資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画や生活を豊かにするために布を用いた物の製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート テスト 作品 ワークシート 夏休み課題 授業観察 テスト ワークシート 夏休み課題
1 2 3	私たちの食 生活	・どうして食事をするのだろう ・私たちの食生活 ・栄養素ってなんだろう ・中学生に必要な栄養 ・バランスの良い食事について考えよう	知 思 態	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。 ・健康によい食習慣について理解している。 ・中学生の1日分の献立、日常食の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。 ・中学生の1日分の献立、日常食の調理の仕方や調理計画について考え、工夫している。 ・中学生の1日分の献立、日常食の調理の仕方や調理計画について課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している。 ・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴や中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート テスト ワークシート テスト ワークシート

7年英語科

知	知識・技能
思	思考・判断・表現
態	主体的に学習に取り組む態度

月	単元 題材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準	評価方法 場面・時期
4	自分 を 紹 介 し よ う	・あいさつ ・アルファベット ・フォニックス ・クラスルームイングリッシュ ・英文の書き方 ・辞書のひき方 ・自己紹介文(All bout Me) ・一人称、二人称、三人称のbe動詞の肯定文、疑問文、否定文 ・一人称、二人称の一般動詞の肯定文、疑問文、否定文 ・助動詞can ・疑問詞what、who、how、where、when、how many、what time、what+名詞 ・命令文	知	【聞くこと】日常的な話題(人やもの)を表す表現の意味や働きを理解している。 【読むこと】be動詞や一般動詞の現在形の意味や働きを基に、英文の概要を読み取る技能を身につけている。 【話すこと】日常的な話題(自分自身)についてbe動詞や一般動詞を用いて話す技能を身につけている。 【書くこと】be動詞や一般動詞、疑問詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	小テスト 定期テスト パフォーマンステスト
5			思	【聞くこと】日常的な話題(人やもの)についての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解している。 【読むこと】日常的な話題(人やもの)について書かれた文章を読んで、その概要をとらえている。 【話すこと】日常的な話題(自分自身)について簡単な語句や文を用いて話している。 【書くこと】日常的な話題(自分自身)について、つながりのある文章を簡単な語句や文を用いて書いている。	小テスト 定期テスト パフォーマンステスト
6			態	【聞くこと】日常的な話題(人やもの)についての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解しようとしている。 【読むこと】日常的な話題(人やもの)について書かれた文章を読んで、その概要をとらえようとしている。 【話すこと】日常的な話題(自分自身)について聞き手を配慮しながら簡単な語句や文を用いて話そうとしている。 【書くこと】日常的な話題(自分自身)について、簡単な語句や文を用いて書くようとしている。"	パフォーマンステスト 授業の取り組み ワークシート 定期テスト
7					
8	人 や 物 を 紹 介 し よ う	・三人称現在形の肯定文、疑問文、否定文 ・代名詞(目的格、所有代名詞) ・疑問詞which、whose ・現在進行形の肯定文、疑問文、否定文 ・感嘆文 ・不定詞(形容詞的用法) ・look+形容詞 ・レストランでの注文の仕方	知	【聞くこと】身近な人や有名人を表す表現の意味や働きを理解している。 【読むこと】現在進行形の意味や働きを基に、英文の概要を読み取る技能を身につけている。 【話すこと】身近な人や有名人についてbe動詞や一般動詞を用いて話す技能を身につけている。 【書くこと】現在進行形の特徴やきまりに関する事項を理解している。	小テスト 定期テスト パフォーマンステスト
9			思	【聞くこと】身近な人や有名人についての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解している。 【読むこと】身近な人や有名人について書かれた文章を読んで、その概要をとらえている。 【話すこと】身近な人や有名人について簡単な語句や文を用いて話している。 【書くこと】身近な人や有名人について、つながりのある文章を簡単な語句や文を用いて書いている。	小テスト 定期テスト パフォーマンステスト
10					
11			態	【聞くこと】身近な人や有名人についての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解しようとしている。 【読むこと】身近な人や有名人について書かれた文章を読んで、その概要をとらえようとしている。 【話すこと】身近な人や有名人について聞き手を配慮しながら簡単な語句や文を用いて話そうとしている。 【書くこと】身近な人や有名人について、簡単な語句や文を用いて書くようとしている。	パフォーマンステスト 授業の取り組み ワークシート 定期テスト
12					
1	レ ポ ー タ ー に な ろ う	・一般動詞の過去形(規則動詞、不規則動詞) ・一般動詞の過去形の疑問文、否定文 ・be動詞の過去形の肯定文、疑問文、否定文 ・過去進行形の肯定文、疑問文、否定文 ・There is、There are構文	知	【聞くこと】体験したことやその感想などを表す表現の意味や働きを理解している。 【読むこと】be動詞の過去形、過去進行形の意味や働きを基に、英文の概要を読み取る技能を身につけている。 【話すこと】自分が体験したことやその感想についてbe動詞や一般動詞を用いて話す技能を身につけている。 【書くこと】be動詞の過去形、過去進行形の特徴やきまりに関する事項を理解している。	小テスト 定期テスト パフォーマンステスト
2			思	【聞くこと】体験したことやその感想などについての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解している。 【読むこと】物語や体験談などのつながりのある文章を読んで、その概要をとらえている。 【話すこと】自分が体験したことやその感想などについて簡単な語句や文を用いて話している。 【書くこと】自分が体験したことやその感想などについて、つながりのある文章を簡単な語句や文を用いて書いている。	小テスト 定期テスト パフォーマンステスト
3			態	【聞くこと】体験したことやその感想などについての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解しようとしている。 【読むこと】物語や体験談などについて書かれた文章を読んで、その概要をとらえようとしている。 【話すこと】自分が体験したことやその感想などについて聞き手を配慮しながら簡単な語句や文を用いて話そうとしている。 【書くこと】自分が体験したことやその感想などについて、簡単な語句や文を用いて書くようとしている。	パフォーマンステスト 授業の取り組み ワークシート 定期テスト